

## 安全データシート

### 1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ラスティンズ チークオイル  
供給者の会社名称 : (株)リムジンインタナショナル  
担当部門 :  
住所 : 東京都世田谷区太子堂2-17-16

電話番号 : 0120-901-533  
緊急連絡電話番号 : 03-3419-3344  
ファクシミリ番号 :  
作成日 : 2020/6/22

#### 推奨用途及び使用上の制限

用途セクター[SU] :  
推奨用途 : 屋内外の木部用塗料  
使用上の制限 :

### 2 危険有害性の要約

#### GHS分類 :

引火性液体:区分3  
生殖細胞変異原性:区分1B  
発がん性:区分1B  
誤えん有害性:区分1

注: 急性毒性経口の不明成分は58%。急性毒性経皮の不明成分は58%。急性毒性吸入(気体)の不明成分は58%。急性毒性吸入(蒸気)の不明成分は58%。急性毒性吸入(粉塵/ミスト)の不明成分は58%。水生環境有害性急性毒性の不明成分は59%。水生環境有害性慢性毒性の不明成分は58%。

#### GHSラベル要素 :

絵表示



注意喚起語 : 危険

#### 危険有害性情報 :

- ・ 引火性液体及び蒸気。
- ・ 遺伝性疾患のおそれ。
- ・ 発がんのおそれ。

注意書き :

**【安全対策】**

- ・使用前に取扱説明書を手に入ること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・熱、高温のもの、火花、裸火、及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・防爆型の[電気機器/換気装置/照明器]を使用すること。
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する措置を講ずること。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡を着用すること。

**【応急措置】**

- ・皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水[又はシャワー]で洗うこと。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・火災の場合：消火するために泡消火剤または炭酸ガス消火器を使用すること。

**【廃棄】**

- ・内容物/容器は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。

**【保管】**

- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ・施錠して保管すること。

**他の危険有害性：**

- ・蒸気が広範囲に拡散して着火源に到達し、発火や火炎の逆流、爆発を引き起こす恐れがある。
- ・この物質は可燃性であり、詳細については項目9を参照のこと。
- ・この物質は、熱、火花、炎、またはその他の発火源（静電気、パイロットライト、機械/電気設備、本質的に安全と認定されていない電子機器類、例えば携帯電話、コンピュータ、計算機、など）によって発火する可能性がある。
- ・この材料は、流動させる、若しくはかき混ぜることによって帯電し、放電によって発火する可能性がある。
- ・低地や閉ざされた場所に蓄積すると、火災や爆発の危険性が高まる。
- ・製品の蒸気は空気よりも重いので、床、ピット、下水道、地下室などに、高濃度で溜まる可能性がある。
- ・換気が不十分な場所で使用すると、爆発性/引火性の高い混合物が発生することがある。
- ・たとえ使用後であっても、可燃性成分が完全に蒸発するまでは、爆発的な蒸気 - 空気混合物が形成される危険性がある。

**3 組成及び成分情報 混合物**

成分名	濃度 %	CAS No.	PRTR種類	労働安全衛生法-通知義務	毒物及び劇物取締法	化審法整理番号	化審法対象物質
Naphtha(Petroleum), hydrotreated heavy	55~60%	64742-48-9					
Zirconium Drier 18%	0~5%						

Cobalt 6	0.32%	13586-82-8		●			
Methyl Ethyl Ketoxme	0~5%	96-29-7					

#### 濃度限界未満だがSDS作成濃度以上の成分：

COBALT 6, 0.32%, 皮膚感作性区分1, 生殖毒性区分2；

ZIRCONIUM DRIER, 0.65%, 皮膚感作性区分1；

メチルエチルケトオキシム, 0.25%, 皮膚感作性区分1, 発癌性区分2；

## 4 応急措置

### 応急措置の描写

#### 全般的な注意事項：

事故あるいは体調がすぐれない場合は、直ちに医師を呼ぶこと（可能ならば、取扱説明書あるいは安全データ書を呈示すること）。

#### 吸入した場合：

自分の安全を確保しつつ、被災者を蒸気発生源から遠ざける。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに以下のものでも洗淨すること：

直ちに、多量の水と石けんで洗い流します。

熱い溶解物に触れた際には、（次のもの）で皮膚を手当てすること：

非該当

使用してはならない洗淨液：

酸性の洗淨剤 アルカリ性の洗淨剤

#### 眼に入った場合：

眼に触れたときは、直ちに、瞼を開けた状態で10～15 minの間、目を流水で洗淨し、眼科医の診察を受けること。

#### 飲み込んだ場合：

口を念入りにすすぎ、医者に相談すること。

飲み込んだ場合、直ちに（以下のものを）飲ませること：

データなし

#### 応急措置をする者の保護に必要な注意事項：

応急処置：自己防護に留意すること。

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

##### 症状

以下の症状が表われ得る：

蒸気を吸引すると、胸が締め付けられるような感覚を伴って喉がひりひりすることがある。咳や喘息を引き起こすことがある。

#### 影響：

データなし

#### 医師に対する特別な注意事項：

症状に応じて処置すること。

#### 特別な治療：

目に入った場合に備えて、目の洗淨器を常備すべきである。

## 5 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤：

容器を冷却する為の霧状の水、粉末消火剤、炭酸ガス、耐アルコール性の泡が有効である。

#### 使ってはならない消火剤：

棒状注水 勢いよく噴き出る水

#### 火災時の特有な危険有害性

**危険有害な燃焼生成物：**

現在のところ有用な情報なし。

**消火作業者へのアドバイス**

**消火作業者の保護具：**

自給式呼吸器を着用すること。皮膚や目との接触を防ぐために防護服を着用すること。

**その他のデータ：**

爆発性のガスおよび燃焼生成ガスは、吸入しないこと。安全に実行が可能であれば、破損していない容器を危険区域から遠ざけ、火元への燃焼源を断つ。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

## 6 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

人体に対する注意事項：

個人保護の詳細については、SDSのセクション8を参照してください。屋外の場合は、火元の風下側に近づかない。屋外の場合は、傍観者を風上に誘導し危険な場所に近づけない。汚染されたエリアに印をつけ、許可されていない人の立ち入りを防ぐ。漏れ出している容器は、可能であれば、さらなる漏れを防ぐために漏れ口を上方に向ける（起こす）。可能な限り、全ての発火源を取り除く。

保護具：

適切な呼吸保護具を用いること。

緊急時の措置：

すべての発火源を除去すること。人々を安全な場所に避難させること。

**環境に対する注意事項：**

下水道、あるいは自然水系に流出させないこと。防護壁を用いて流出物を封じこめる。

**封じ込め及び浄化の方法・機材**

**封じ込めに関して**

取り除くために適した材質：

乾燥した土や砂に吸収させる。適切な方法で廃棄できるように、密閉可能なラベル付き容器に移す。火花が発生する道具や機器を使用しない。

**浄化にあたって**

希釈あるいは中和のために適した材料：

非該当

**他の項を参照：**

個人用保護具：参照箇所 第8項

## 7 取扱い及び保管上の注意

**取扱い**

**防護措置**

安全な取扱いの為のアドバイス

忌避事項：

蒸気またはミスト/エアゾールの吸引

取り扱い時に充填するガス：

非該当

取り扱い時に充填する液体：

非該当

注意事項：

物質に直接手を触れないこと。作業場所の喚起を十分に行うこと。閉ざされた空間（部屋）で取り扱かわないこと。ミストの発生や拡散を避けること。喫煙は禁止。火花が発生しない材質の工具を使用する。

**火災防止のための措置**

湿潤状態を保持するための物質：

非該当

混合禁止物質：

酸 塩基

隔離すべき物質：

酸化剤 還元剤

注意事項：

涼しく換気の良い場所に保管する。容器の蓋はしっかりと密閉する。着火源から遠ざける。容器の近くでは静電気の蓄積を防ぐ。防爆型の照明・電気機器を使用する。

**エアゾールおよび粉塵生成を回避するための対策**

充填、計量、サンプリング時に使用すべき装置：

データなし

以下のタイプの局所換気を用いること：

煙/蒸気に対応した排気フード。

環境に対する注意事項：

参照箇所 第8項。マンホールや下水道は、その製品が流入するのを防ぐこと。

特定の要求あるいは取り扱い規則：

非該当

**一般的な労働衛生上の注意事項：**

皮膚、眼、衣服との接触を避けること。

**保管**

**包装材料**

容器または設備向けに適切な材料：

元の容器でのみ保管する（別の容器に移しての保管はしない）。

容器または設備向けには、不適切な材料：

ガラス、陶器、プラスチックなどの破損しやすい容器では保管しない。

**共同貯蔵に関する注意事項**

保管分類：

可燃性液状物質

混触禁止物質：

強酸 強アルカリ

**保管条件に関するその他情報：**

容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。容器は元のものに限り、涼しく換気のよい場所に保管すること。

**8 ばく露防止及び保護措置**

**管理パラメーター**

**ばく露限界値：**

成分	CAS NO.	国	許容濃度		最大許容濃度	
			mg/m3	ppm	mg/m3	ppm
該当なし						

**生物学的限界値：**

成分	CAS NO.	国	単位	限界値	パラメータ
該当なし					

**ばく露制御**

**設備対策**

最初に：第7項を参照すること。更なる対策は、必要でない。

物質/混合物の使用におけるばく露防止の関連対策：

換気（窓やドアを開ける）が必要。

ばく露を防ぐための技術的な対策：

使用場所の換気が十分であることを確認すること。 防爆型の照明・電気設備であることを確認する。

### 個人用保護具

眼の保護具

適切な眼の保護：

保護眼鏡

注意事項：

非常用に、目の洗浄設備を備えること。

手の保護具

適切な手袋の種類：

保護手袋の着用

適した材料：

PVC(ポリ塩化ビニル) PE(ポリエチレン) CR(ポリクロロプレン、クロロプレンゴム) NBR(ニトリルゴム) FKM(フッ化ゴム) PVA(ポリビニルアルコール)

要求される特性：

耐油性

注意事項：

データなし

皮膚及び身体の保護具

適切な保護具：

防護服

要求される特性：

静電気防止性

推奨される材料：

天然繊維（例えば、木綿）

呼吸用保護具

呼吸用保護具が必要なケース：

不十分な換気。 より多くの量の取り扱い。 エアゾールあるいは、霧の生成。

経験的に呼吸用保護具が必要な作業：

データなし

適切な呼吸用保護具：

自給式呼吸器

注意事項：

緊急時に備えて、自給式呼吸器を備えておく。

### 環境ばく露管理

ばく露を防ぐための技術的な対策

排気ガス洗浄に用いるフィルターのタイプ：

データなし

排ガス洗浄に用いる再生・削減技術：

データなし

排水に適用する化学処理方法：

オイルと水の分離器

## 9 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	ペールブラウン（薄茶色）
臭い	パラフィン
融点/凝固点	データなし/データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	150℃～190℃
可燃性	有

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	43℃
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	20.5000mm <sup>2</sup> /s以下
溶解度	非水溶性
n-オクタノール/水分配係数 (log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	非該当

## 10 安定性及び反応性

**反応性：**  
推奨される保管条件および輸送条件では安定である。

**安定性：**  
この物質は、推奨される保存条件、使用条件、温度条件の下では化学的に安定である。

### 危険有害反応可能性

**溶解した場合：**  
非該当

**気化した場合：**  
引火の危険性

**凍結した場合：**  
非該当

### 避けるべき条件

**乾燥状態：**  
非該当

**隔離された状態：**  
非該当

**微細分散/噴霧/ミストの状態：**  
引火の危険性

**暖めた場合：**  
加熱は避けるべきである。高温になると引火性蒸気が発生する。夏の気温以下に保つべきである。

**光が影響する場合：**  
直射日光は避けるべきである。

**衝撃や圧力の影響を受けた場合：**  
データなし

**空気流入の場合：**  
データなし

**貯蔵時間を越えた場合：**  
データなし

**貯蔵温度を越えた場合：**  
高温になると引火性ガスが発生する。

### 混触危険物質

**避けるべき物質：**  
強酸類、強アルカリ類、酸化性物質

### 危険有害な分解生成物：

熱分解により、刺激性の気体や蒸気が放出する可能性がある。

### 追加情報：

現在のところ有用な情報なし。

## 11 有害性情報

### 毒性学的影響に対する情報：

急性毒性 経口  
メチルエチルケトオキシム(区分4)LD50 930mg/kg  
急性毒性 経皮  
メチルエチルケトオキシム(区分4)LD50 1000mg/kg  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性  
メチルエチルケトオキシム(区分2A) /COBALT 6(区分2A)

皮膚感作性  
メチルエチルケトオキシム(区分1) /COBALT 6(区分1) /ZIRCONIUM DRIER(区分1)  
生殖細胞変異原性  
C9、C10のアルキルシクロヘキサン混合物(区分1B)  
発がん性  
メチルエチルケトオキシム(区分2) /C9、C10のアルキルシクロヘキサン混合物(区分1B)

生殖毒性  
COBALT 6(区分2)  
特定標的臓器毒性(反復ばく露)  
メチルエチルケトオキシム(区分1)  
誤えん有害性  
C9、C10のアルキルシクロヘキサン混合物(区分1)

**物理的、化学的及び毒性学的特性に関する症状**  
経口摂取の場合：  
データなし  
皮膚接触の場合：  
データなし  
吸入した場合：  
データなし

**追加他情報：**  
火災の場合：自給式呼吸器具を着用すること。

## 12 環境影響情報

**生態毒性：**  
データなし

**残留性・分解性：**  
データなし

**生体蓄積性：**  
データなし

**土壌中の移動性：**  
データなし

**オゾン層への有害性：**  
データなし

**追加環境毒性学情報：**  
データなし

## 13 廃棄上の注意

**廃棄物処理方法**

**製品/包装材料の廃棄**

危険有害性をもたらす廃棄物の特性 :  
可燃性

廃棄物処理方法のオプション

適切な廃棄方法/残余廃棄物 :

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などに許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物処理を委託する場合は、処理業者に危険性・有害性を十分に告知の上処理を委託する。

適切な廃棄処理/汚染容器と包装 :

洗浄できない包装容器は、廃棄物として処理しなければならない。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

注意事項 :

**14 輸送上の注意**

**国連番号**

陸上輸送 (ADR/RID)	1263
内陸水運 (ADN)	1263
海上輸送 (IMDG)	1263
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	1263

**国連輸送名**

陸上輸送 (ADR/RID)	Paint
内陸水運 (ADN)	Paint
海上輸送 (IMDG)	Paint
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	Paint

**国連分類**

陸上輸送 (ADR/RID)	3
内陸水運 (ADN)	3
海上輸送 (IMDG)	3
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	3

**容器等級**

陸上輸送 (ADR/RID)	III
内陸水運 (ADN)	III
海上輸送 (IMDG)	III
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	III

**環境に対する有害性**

陸上輸送 (ADR/RID)	データなし
内陸水運 (ADN)	データなし
海上輸送 (IMDG)	環境に有害である。
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	データなし

MARPOL 条約73/78附属書II及びIBC  
コードによるばら積み輸送

非該当

海洋汚染物質

該当

**国内規則がある場合の規制情報**

陸上輸送 :	消防法、毒物及び劇物取締法、高圧ガス保安法に従う。
海上輸送 :	船舶安全法、港則法に従う。
航空輸送 :	航空法に従う。

**15 適用法令**

毒物及び劇物取締法 : 本製品は毒物及び劇物取締法の毒物及び劇物には該当しない

労働安全衛生法第57条に基づく表示：

COBALT 6；

労働安全衛生法「通知義務」に該当する成分：

COBALT 6；

労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則：

該当せず

労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則：

該当せず

労働安全衛生法 がん原生に係る指針対象物質：

該当せず

労働安全衛生法 強い変異原性が認められた化学物質：

該当せず

労働安全衛生法 鉛・四アルキル鉛中毒予防規則：

該当せず

化学物質管理促進法（PRTR）：

該当せず

消防法：

危険物：危険物第四類 第二石油類 危険等級Ⅲ 非水溶性

化審法：

該当せず

水質汚濁防止法：

該当せず

土壌汚染対策法：

該当せず

特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律：

該当せず

危険物船舶運送及び貯蔵規則：

引火性液体類 3

航空法施行規則：

引火性液体 3

## 16 その他の情報

参考文献：

- ・ JISZ 7253-2019\_GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル・作業場内の表示及び安全データシート（SDS）.
- ・ JIS 7252-2019\_GHSに基づく化学物質等の分類方法.
- ・ Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals(GHS) 6th revised edition by UNITED NATIONS.
- ・ 緊急時応急措置指針「ERG 2016版」容器イエローカードへの適用.
- ・ 経済産業省発行事業者向けGHS分類ガイダンス平成25年7月.
- ・ 独立行政法人製品評価技術基盤機構監修のGHS分類物質一覧.
- ・ 一般財団法人化学物質評価研究機構（CERI）公開の化学物質ハザードデータ集.

**責任の限定について：**

本記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。本製品を扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じてください。尚、本製品安全データシートは安全や品質の保証書ではありません。